

令和4年度第3回北杜市子ども・子育て会議 会議録

開会日時 令和4年11月25日(金) 開会:13時30分 閉会:14時45分

開催場所 北杜市役所西会議室

出席者

民生委員・児童委員協議会会長 栗澤 雅子 委員長
民生委員・児童委員協議会(児童福祉部会)副会長 仲田 君恵 委員
北杜市母子愛育会会長 小宮山幸枝 委員
北杜市放課後子ども教室コーディネーター代表 矢崎 元子 委員
北杜市PTA連絡協議会会長 森本貴代美 委員
北杜市PTA連絡協議会副会長 清水 好美 委員
北杜市保育園保護者連合会副会長 功刀 雅美 委員
青少年育成北杜市民会議会長 跡部 元 委員
North tree(NPO法人ほくと育ちあいのもり)理事長 平出ユウ香 委員
北杜市保育協議会会長 菰澤ふみ子 委員
北杜市保育協議会副会長 大久保初美 委員

(事務局)

子ども政策部長 大芝 一、子ども政策部参事 小澤 茂、子育て政策課長 中澤 徹也
子育て政策課総務企画担当 坂口 美穂、子育て政策課子育て応援担当 大柴万三子
子ども保育課長 齊藤 栄慶、子ども保育課保育担当 白倉 健
ネウボラ推進課長 河手 貴、ネウボラ推進課保健指導監 白倉 百合香
ネウボラ推進課ネウボラ推進担当 天池 栄子

欠席者

帝京学園短期大学教授 吉田百加利 副委員長
民生委員・児童委員協議会(児童福祉部会)会長 小澤志保子 委員
北杜市食生活推進協議会会長 田中 律子 委員
北杜市PTA連絡協議会副会長 名取 政義 委員
北杜市保育園保護者連合会会長 野呂 友恵 委員
北杜市商工会会長 小野 光一 委員
北杜市校長会代表 有賀 望 委員

議題

- (1)第2期北杜市子ども・子育て支援事業計画の中間見直しについて
- (2)こどもランド・こどもパークの進捗状況について
- (3)保育園の運営について
- (4)「子育てするなら北杜」宣言について
- (5)結婚相談事業「メタバース婚活」について

公開・非公開の別 公開

傍聴人 1名

議事

- (1) 第2期北杜市子ども・子育て支援事業計画の中間見直しについて
－資料に基づき事務局から説明－

議長

質問等あるか。

(なし)

- (2) こどもランド・こどもパークの進捗状況について
－資料に基づき事務局から説明－

議長

質問等あるか。

委員

料金はどうなるのか

こどもランドはこどもパーク内に新しい建物を建てるということか。

事務局

料金について市民の利用については無料と考えている。

建物は公園内に新設と考えている。

委員

駐車場はどのように考えているか。

事務局

北側の高い部分は職員の駐車場にして、利用者にはなるべく公園の近くに駐車場を考えている。また、公園からくる子どもが飛び出さないように安全性を確保するように考えている。

委員

希望ですが、保健センター駐車場入り口から旧道を結ぶように、駐車場の真ん中に道が走っている。できればこの道もずっと南に迂回するとか、建物の方に全部駐車場を寄せれば子どもが飛び出す危険がないと思うがどうか。

事務局

駐車場については、割り振りや台数確保など効率的にできる限り確保して、利用者にストレスなく、かつ安全が確保できるような設計を考えていきたい。今の意見を考慮しながら設計の方と協議していきたい。

委員

ここでも出た色々な意見が反映されたイメージ図が12月に送付されると期待している。異年齢間や多世代交流も盛り込まれた拠点となる公園だと思うので、何か所からも広場にアプローチできる駐車場があればいいと思う。移動距離はネックになる部分だと思う。子育て世代や高齢者や障害のある方にも優しい設計をお願いしたい。

事務局

今回整備を予定しているのは黄色の点線でお示した中となる。周辺の新規の用地確保は難しいので、この中でご意見を少しでも反映できるような計画にしていきたい。

委員

11月に新聞に公開されたが、それまでの話し合いの機会をもっと持ちたかった。

健診や事業の時は駐車場がいっぱいになる事がある。土日の利用や子供がどのくらい来るかの見込みはわからないと思うが、駐車場が足りないのではと感じる。健診会場の検討なども今後必要になってくると思う。

保健センターとの連携とはどういったものか。センターの保健師への相談取次ぎなのか、いろいろ模索していただきたい。

公園のドングリや落ち葉など自然を感じられるものや桜並木などをうまく生かしてほしい。

社協との連携もぜひとってほしい。登録しているボランティアの情報も子育て世代には入っていないので、例えばランドで絵本読み聞かせを行うなどの機会を作してほしい。またデイサービス利用者との交流ができてもいいのでは。

多世代交流とは具体的にどういう感じか。自然にランドゴルフをしているおじいちゃんたちの隣に公園で遊んでる子供たちがいる形なのか、それとも何か仕掛けをして交流をしていくのか。

子供たちが占領するよりは地域の方と一緒にうまく使っていけるような施設が望ましい。

こどもランドの対象年齢0から9歳は単純に不安も感じる。危機管理をしっかり考慮したゾーニングを考えていただきたい。

事務局

社協との連携については今後検討していくが、事務局と相談の上、一緒に何かできるようであれば、考えていきたい。

多世代交流について、例えばグラウンドゴルフをしているところへ子どもが遊びに行くことで交流が生まれるとも考えている。また地域の方、ボランティアから遊びの伝承などしてもらうなど、皆さんから提案いただく中で実現できるものもあると考えている。高齢者だけではなく地域の方と様々な企画もできる。そこに保健センターや社協、グラウンドゴルフの方との交流も広げていきたい。

対象年齢については、近隣の子育て支援施設では0-6歳とその兄弟姉妹という設定が多い。一人っ子の家庭も増えているので、兄弟姉妹で3歳くらいの差と考えて0-9歳とした。今後、例えば平日と土日の使い分けなど、運営していく中でお互いに安全に安心して遊べるように作っていきたい。

駐車場について、現段階では増設計画はお示しの通りで、最大限使えるよう考えている。どんぐりや桜並木などの自然について、公園を整備する中で再配置も出てくるが、状況を見ながら自然とふれあえる場所を残していきたい。

委員

芝生広場にグラウンドゴルフ場がある。整備後はどうなるか。

事務局

市民アンケートで大型遊具を望む声が多かったので遊具の設置は行う。現状、芝生広場をグラウンドゴルフの練習場所として使っているので、遊具の設置方法など相談しながら進めたい。

委員

子育て拠点になるので、駐車場からのアプローチなど高低差のないバリアフリーな設計にしていきたい。

市外県外の方が来ると思うので、障害の方や異年齢の方みんながリピーターになるような設計になることを期待している。

地震など自然災害に備えた防災公園としての機能を設計に組み込めるのであればお願いしたい。

公園の利用率が27%で3割に満たない。世代を超えた希望に沿える公園が出来上がると思っているが、利用周知の方法は何か考えているか。

事務局

バリアフリーについては設計に反映させていきたいと考えている。また県内外にリピーターができるような特色のある公園を目指していきたい。

防災設備について、保健センターが福祉避難所になっており、社協はボランティアセンターになる。災害時でも使えるようなものがあれば取り入れていきたい。

利用方法については、市の広報や公式SNSなど使える手段を利用し周知していきたい。

委員

利用料について市民は無料とのことだが、今後の料金設定は。

利用希望者の予約の方法はどう考えているか。

イベントとして使いたい場合の申し込みの窓口はどう考えているか。

周知について、公園計画を知らない方も多かったが、どのように周知したのか経緯を伺いたい。

事務局

市外利用料金について、現時点では決まっていない。様々議論があるので、今後運営側と話し合っていきたい。

グランドゴルフについて、現状では利用する場合、ネウボラ推進課が日程を取りまとめ、決まった曜日で使用している。今後のほかのイベント等については現時点では決まっていない。今後、ルール決めをしていきたい。

これまで子育て世代へのアンケートのほか、実際に子育て支援施設で保護者の意見や子どもたちの声を聞きながら意見を集約してきた。公園ができますという周知というよりも、求めているものを聞きながら意見集約をしてきたという流れ。前回の会議の中で高根に整備をすること、屋内型の施設と既存の公園を活用するところまで話を進めさせていただいた。今後は遊具の選定・配置など具体的な設計のほか、施設の形や広さ、トイレや相談スペースなどの設計を進めていく。

また、今後の運営についても、子ども子育て会議で提案やご意見を求めていく。

事務局

12月の月上旬に委員の方に、こどもランド・こどもパークのイメージを送付させていただき、ご意見をいただきたいと考えている。またつどいの広場にかかわる支援員の皆さんにも意見を聞きながら実施設計を進めていきたい。

運営については、新しいルールも当然必要になってくると思う。委員方にはそちらの面でも相談をさせていただきたい。

(3) 保育園の運営について

－事務局から報告－

議長

質問等あるか。

委員

白州保育園には関係ないですが、愛育の会議で出た市民の声をお伝えしたい。

例えば二人目が生まれたときに、親が家にいる場合、兄妹は保育園に通えず別の認定子ども園などに預けなければならない。そうすると遠くの保育園に送るなどの支障が出てくる。子どもを育てやすいまちづくりを掲げているので、形式的にそうなのはわかるが寂しいという声があった。そんなことから保護者のニーズがどういうところにあるのか、国の制度でなかなか難しい部分もあると思うが、それに応えられるような北杜市独特のものがあってもいいのかと思う。

また北杜市に家を建てて子育てをしたい若い世代に対して、農地転用にかかる時間をなるべく

早くしてほしいという声もあがっている。ニーズに応えるのは難しいと思うが、ぜひ頭の中に入れておいていただきたい。

議長

各部署関係部署へいろんな声を届けていただきたい。

- (4) 「子育てするなら北杜」宣言について
－資料に基づき事務局から説明－

議長

質問等あるか。

(なし)

- (5) 結婚相談事業「メタバース婚活」について
－資料に基づき事務局から説明－

議長

質問等あるか。

(なし)

以上